



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003

2003-2004 GOVERNOR'S

11

MONTHLY LETTER No.5

2003.11.1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
ガバナー・ノミニー決定宣言	3
財団月間に因んで/財団月間に際して	4
財団人道的補助金について	5
財団月間によせて	7
G S E 派遣メンバーフィリピンへの船出	9
2004年O S A K A で世界と出会おう	10
ライラセミナー報告	14
ロータリー市民フォーラムのご案内	17
新世代・青少年交換委員会報告	19
姉妹クラブ・友好クラブ一覧	21
ある葬儀に参列して	22
クラブ報告(函館北RC)	23
お知らせ/新入会員のご紹介	24
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	25
ハイライトよねやま44	26
文庫通信	27
掲示板/訃報	28
9月会員数・出席率	29
地区カレンダー	30

国際ロータリー日本事務局からのお知らせ

11月1日から以下が適用されますので宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

- ・ロータリー・レートが11月1日から1ドル110円に変更されます。
- ・R I への送金（人頭分担金・資料代）専用口座、ロータリー財団への送金（寄付金）専用口座があり、各口座の振替は一切できませんので送金時にはご注意ください。専用口座はそれぞれの専用送金明細書に記載されています。財団への寄付は寄付者のID#を記入してください。クラブ寄付は指定のない限り年次寄付となります。
- ・その他の送金にも送金明細書をファックスにてお送りください。送金明細書がないと未処理の扱いとなり送金明細書が到着した時点でのロータリー・レートが適用されます。

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3

NS 3ビル1階

国際ロータリー日本事務局 経理室

Tel : 03-3903-3183 Fax : 03-3903-3781

ガバナーメッセージ



財団に協力しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は財団月間である。R I と R 財団は車の両輪と言われる。片方がパンクをすると前には進めない。公式訪問時一貫して財団の年次寄付と指定寄付であるポリオの寄付をお願いして来た。年次寄付について R I は2005年度まで地区平均一人当たり100ドルを推奨しているが、当地区における目標額は25万ドルである。この数字は72クラブの会長エレクトから、当年度の目標額を報告していただいた合計を国際協議会開催時に R I に報告した数字である。当地区の期首会員は3,304名であるから、R I の推奨から言うと33万ドルと言うことに成るのだが…。財団の詳細について私自身わからないが、毎年1月ごろ財団から「年次報告書」が発刊される。これは前々年度におけるものであるが、これを読むと世界のロータリアンから幾ら位の年次寄付が集まり、恒久基金の収益がどのくらいで主にどのように使われているかが判るようになっている。クラブ会長は会員にこれを報告する義務がある。これを怠ると財団は益々不透明な存在となり協力は得られない。又、R I は1985年にポリオ・プラスプログラムを立ち上げた。目標額を世界の5億人の子供たちに12セントのポリオワクチンを2回投与し2000年までに世界からポリオを無くそう。そして5年間ポリオが発生しなければ2005年の R I 創立100周年に終結宣言をしようとの計画である。1億2千万ドルを目標と

した寄付は倍以上の2億4千7百余万ドルに達したため、1988年のフィラデルフィア世界大会において勝利宣言をしたのである。これにより日本のロータリアンはポリオが終了したと判断したのです。しかしポリオは世界から無くならなかった。そこで関係者が集まり2005年度までに世界からポリオを追放しようとして決議し、10億ドルかかる費用の内ロータリーは8千万ドルを負担する。日本は千玄室氏が R 財団管理委員会委員として、2割の1千6百万ドルを負担するとの誓約をした。これを日本のロータリー会員数で割ると約150ドルとなり、昨年的小林年度、今年度そして次の遠藤エレクト年度の3年でもって達成したいとの願いから、再度の寄付をお願いすることとした訳です。いまだポリオが発生している後進国の国々において一旦ポリオに罹りますと先進国のような身障者施設が整っていないため多くの人達は健常者社会から見放され悲惨な生涯を送る事と成るのです。地区内会員が50ドル(約6,000円)を拠出していただくと何百人もの子供たちをポリオウイルスから守る事が出来るのです。第2500地区の地区大会において第2830地区(青森)の関場 P G が講演で言っていました。海外青年協力隊でアフリカに行ったとき真っ暗闇の路地の中に目だけがぎょろぎょろしている四つんばいの動物がいる。よく目を凝らしてみると、それはポリオに罹った子供だったと…。

ガバナー日記(3)

ガバナー 佐藤 秀雄

8月1日(金)佐藤公委員長の地区ロータリーの友委員会が当事務所で開催され、今年度の編集方針及び委員会の年間開催日等が討議され充実した2時間だった。8月2日(土)前泊で財団セミナー出席のため夕刻千歳空港を立ち東京に向かう。3日(日)森本地区財団委員長、伏木地区補助金委員長の3人で9:00から17:00まで「ロータリー財団セミナーハンドブック(2003年8月3日改訂)」に基づき講義を受けた。8月25日(月)森本地区財団委員長の委員会が東京で受講した改訂部分を委員に伝授するため委員長の会議室をお借りし開催された委員会に出席。8月26日(火)岩城委員長の地区100周年記念委員会がパークホテルで開催され、次々年度ロータリー創立100周年に当たり地区そしてクラブがどのような事業を展開すべきかにつき話し合われた。8月30日(土)米山記念奨学会の評議会出席のため東京に向かう。

公式訪問

7月28日(月)戸部アナマリア第4グループガバナー補佐から各クラブ訪問の報告書を提出頂き大いに助かる。今日は直前ガバナーの所属する札幌北RCが入っての合同例会のため期待と緊張をもって木村地区代表幹事とともに札幌に向かう。16:30から戸部ガバナー補佐の司会のもと会長・幹事懇談会に入る。札幌北RC城木会長からクラブ概況報告の後クラブ内の融和につき話し合った。17:10札幌はまなすRC大石会長は女性会員を初めて入れたがクラブが非常に和やかに成ったとの報告あり嬉しい。17:50札幌モーニングRC池上会長は会員の平均

年齢が若く例会ではラジオ体操、自作の曲3曲あり活発に活動している。18:30合同例会、4人の新会員の入会式があり会員一人一人にバッジを付けさせて頂いた。8月5日(火)今日は札幌西RC公式訪問のため上井地区幹事とともに三越にJRで向かう。11:30定刻戸部ガバナー補佐の司会で懇談会に入る。村上会長は会員のピークは140名位いたが現在はその半分に減少したので80名まで増強したい。国際奉仕、特に交換留学生に力を注いでいる。8月6日(水)歴史と伝統の札幌RCと札幌西北RCの合同例会。高慶代表幹事補佐と車で札幌グランドホテルに向かう。札幌RCの内山会長はクラブ側から報告することは無いと言うので、ポリオの寄付についてお願いした。札幌西北RCの大野会長は女性会員を増強したい。家族に理解してもらおうクラブ例会を増やしたい。マジニアベRI会長はロータリー家族を巻き込んだロータリー活動を盛んに推奨している。この方針に添ったクラブ運営に大いに満足。8月9日(土)札幌あけぼのRCと札幌手稲RCの合同例会のため高慶代表幹事補佐と三越の例会場に向かう。定刻11:00札幌あけぼのRCの染谷会長は隣人との握手から四大奉仕活動に邁進したい。そして身の丈にあった奉仕活動を推進する。今年度から入会金を10万円から5万円に減じた。11:40札幌手稲RCの山本会長は土曜日を例会日とし、事業は中学生のスポーツ大会を実施18校から約2千名の参加、高校生に対し奨学金の授与そして青少年交換事業等に力を注いでいる。

ガバナー・ノミニー決定宣言

国際ロータリー第2510地区

会員各位

2005～2006年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より、塚原房樹君（札幌東RC）が選出された旨、報告を受けました。

所定の期日までに、いずれのクラブからも他の候補者が出ませんでしたので、国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.）に基づき、塚原房樹君を2005～2006年度第2510地区ガバナー・ノミニーとすることを決定し、ここに宣言致します。

2003年10月27日

ガバナー 佐藤 秀雄



塚原 房樹（札幌東RC）

生年月日・出身地 昭和10(1935)年10月7日・東京

自宅住所 〒064-0953 札幌市中央区宮の森3条13丁目5-23

職業分類 食肉加工

勤務先 (株)ホクビー 顧問
(有)青樹社 代表取締役

【学歴】

1956年3月 旭川東高校卒業

1959年3月 早稲田大学第一法学部卒業

【職歴】

1959年4月 (有)青樹社設立 専務取締役

1971年4月 (株)ホクビー設立 代表取締役社長

1985年5月 " 代表取締役会長

2003年5月 " 顧問

2003年6月 (有)青樹社 代表取締役

【ロータリー歴・クラブ】

1977年1月 札幌東ロータリークラブ入会

1983-84年 同クラブ幹事

1997-98年 同クラブ会長

【ロータリー歴・地区】主なもの

1988-89年 地区幹事

1990-91年 地区社会奉仕委員長

1992-93年 地区幹事・地区リーダーシップ養成副議長

1996-97年 地区情報委員長・地区史編纂委員長

1998-99年 地区職業奉仕委員長

2000-01年 地区文献資料室室長

2002-03年 地区文献資料室室長・ロータリー100周年記念委員

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ベネファクター

米山功労者



ロータリー財団月間に因んで

地区ロータリー財団委員会

委員長 森 本 正 夫 (札幌西北RC・PG)

今年も8月上旬に東京で財団地域セミナーがありました。ご承知のように、寄付が思うように集まっていないことや会員の減少について歯止めがかかっていないことなどについて討議が重ねられました。日本は、経済の低迷下にあっても、年次寄付が一人平均で84ドルと、世界の平均額の46ドルに比べれば、相当に高い額となっています。しかし、2001年の規定審議会で、2005年までに一人当たりの寄付額が100ドルと設定されたわけですから、やはり範を垂れるべく努力して行きたいものです。

幸いにも、私が財団委員長になって以来三年目にして初めて、このところようやく日本経済にも回復の兆しが見え始めてきたところです。「三度目の正直」といいますか、三年目の正直といいますが、い

ずれにしましても、状況が好転していることは非常に喜ばしいことです。この機会を逃さず、ロータリー活動の広報を続けながら、会員を増やしていくことによって活動資金の確保をはかりたいものです。そのうえで、活動内容を精査し、使途を明確にした上で、具体的数値を示しながら目標資金額に向けて資金集めをすることが、最も現実的な方法であると思います。

佐藤ガバナーのご指導のもと、財団の各委員会の委員長や委員の方々々と力を合わせながら、会員一人一人からご支援いただけるよう努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



ロータリー財団月間に際して

地区財団増進委員会

委員長 大 村 孝 男 (千歳RC)

11月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団は、世界で善をなす限りない機会をロータリアンに提供するものです。今月、財団月間に当たり財団のプログラムは、世界中の何百万もの人々のためになるものであることを、改めてご理解いただくと共に、年次寄付ならびに恒久基金寄付について、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ロータリー財団には年次寄付と恒久基金寄付の二つの寄付方法があり、その一つ年次寄付に関しまして、2001年の規定審議会で西暦2005年までに1人当たりの寄付を100ドルにする決議が採択されました。また、ジョナサンB. マジリアベRI会長からも1人当たり100ドルの寄付を達成するよう、要望されています。

年次寄付とは財団プログラムを継続させるための燃料の役目を果たすものであり、毎年クラブと地区は年次寄付の目標額を設定し、ロータリアンはこの目標額を達成するために努力しています。財団プログラムは年次寄付と恒久基金寄付によって成り立っており、これらの寄付は両方でお互いに補い合っています。と言いますのは、年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにします。年次寄付は3年間利殖のために運用された後、3年後に元金を使用されるものですが、恒久基金は元金は使われず、収益のみ使用されます。

年次寄付と恒久基金収益はシェア・システムにより、国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に配分されます。WFはRIの主催する

国際的奉仕に利用され、DDFは寄付された各地区に還元されて、地区および地区内各クラブの自主的な奉仕活動に役立てられます。ここで重要なことは、各クラブは寄付することで終わりではなく、還元されたお金を如何に有効に使うかということに目を向けていく必要があると思います。本年度より地区補助金の申請手続きが簡略化され、利用しやすくなりました。地区補助金とそれ以外のプログラムに対する補助金との一番の違いは、従来のプログラムに対する補助金では、ロータリー財団管理委員会の審査と承認が必要で、申請から承認まで相当の期間を要していましたが、地区補助金の場合は、地区ロータリー財団委員長の承認でよいことになりました。各クラブで積極的に活用していただければと思います。参考までに、WFとDDFの比率は、2003-04年

度の寄付金から、それぞれ50%（これまでは40%：60%）になります。シェア配分に影響するのは、3年後の2006-07年度からになりますが、従来と同額のDDFを使おうとすれば、本年度の寄付を20%増やさなければなりません。

財団の活動資金の70%以上は年次寄付によって賄われていますが、昨今の世界的なデフレ傾向により、アメリカとて日本ほどではないにしろ、投資運用収益に陰りが見られていることは容易に想像できます。

どうかロータリー財団の現状を今一度よくご理解していただきまして、1人当たり100ドルの寄付を各クラブで達成していただきますよう、お願い申し上げます。参考までに申しますと、2001-02年度の2510地区の年次寄付は1人当たり81ドルであります。ちなみに、日本の平均は84ドルです。



ロータリー財団人道的補助金について

地区補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西RC)

ロータリー財団人道的補助金制度は、大きくわけて、**地区補助金**、**個人向け補助金**、**マッチング・グラント**の3種類があります。

I 地区補助金

地域社会に恩恵を与え、また経済的に恵まれない人々の生活を向上させるために、地区財団活動資金（DDF）を地区の裁量で使えます。

1. 当地区の裁量で使える金額は

2003～04年度 地区補助金は \$ 37,000
(\$310,760×60%×20%≒\$37,000)

2004～05年度 地区補助金は \$ 36,600
(\$304,526×60%×20%≒\$36,600)

3年前の地区の財団年次寄付額の60%が「地区活動資金：DDF」です。その内の20%が地区補助金として地区の裁量で自由に使える額です。

2. 申込と支払について

①お申込は、「ロータリー財団地区補助金プロ

グラム申込書」にご記入の上ガバナー事務所にお申し込み下さい。地区補助金としてふさわしいプロジェクトであれば、1ヶ月以内に承認を致します。地区補助金としてふさわしいプロジェクトの例、及び補助金の審査条件は、ガバナー月信9月号11ページをご覧ください。

②お支払は、「地区補助金ロータリー財団への報告書」を補助金委員会に提出して下さい。受付後、特別な事情がなければ2週間以内にお支払いを致します。

3. 7月～9月末日までに下記、6件のプロジェクトが承認されました。

①札幌西RC：補助200,000円

札幌育児園児約50名を札幌市円山動物園に招待する。保護者のいない児童、虐待されている児童、家庭が崩壊し愛に飢えている児童をロータリアンおよびその家族が1日里親として円山動物園に招待し、共に遊ぶことによ

て愛を勇気を交換する。(申請額：200,000円)

②白老 R C：補助550,000円

白老ロータリークラブ創立25周年記念事業「全盲のオルガニスト大島彰コンサート」の開催。どんな障害があっても「やればできる、目標を持って生きる」ことの大切さを子供達に伝えたい。白老町4中学校全員と高校生、一般市民、障害者を招待する。

(申請額：1,419,600円)

③苫小牧東 R C：補助500,000円

平成14年苫小牧ロータリークラブが立ち上げた苫小牧少年少女合唱団と苫小市民管弦楽団、苫小牧ウィンドアンサンブルとの3団体の競演による演奏会を行う。盲人、何らかの障害をもった方々を招待し、多くの方にロータリーの心を理解してもらう。1,500名規模、NHK室蘭の後援、全国に発信。

(申請額 1,000,000円)

④苫小牧北 R C：補助200,000円

北海道ベアーズ(下肢に障害を持つ人たちのアイスホッケーチーム)支援活動。

北海道のほか八戸市、東京都、その他の選手達で全日本チームを結成し、2003年ソルトレークの冬季パラリンピックに参加。アイスホッケーリンクを時間借りして練習するのを援助して2006年冬季パラリンピック出場の目標に対し援助する。(申請額：200,000円)

⑤七飯 R C：補助149,000円

「おいしく学ぼう」親子で栄養・健康指導を受けながら料理を作る機会を町内の施設を利用。キーワードは親・子供・地域のニーズの3つです。地域(町)は生活習慣病の発症を防ぐための健康政策を進めようとしています。

(申請額：199,000円)

⑥恵庭 R C：補助300,000円

恵庭相撲協会とロータリークラブが共催、9月の秋祭りに相撲大会を行い、小学校6校で約400名が参加。ロータリアンも手伝うなど地域に密着した活動。(申請額：370,000円)

4. 2003~04年度 残額約210万円。受付順に審査をしていきます。

尚、次年度2004~05年度は、36,600ドルの枠があります。次年度のプロジェクトも2004年3月末までにプロジェクトの申請をされますと、2004年7月中には支払が可能になります。

II 個人向け補助金

ロータリー国において最長60日の期間、有資格の国際的な人道奉仕活動のための旅費を補助するために個人向け補助金を提供しています。資金は、将来の人道的プロジェクトあるいは地域社会に恩恵を与える直接的な奉仕活動を計画するために提供されます。

III マッチング・グラント(同額補助金)

海外で人道的プロジェクトを実施するために、プロジェクト実施国とプロジェクト支援国の2つのロータリークラブ或いは2つの地区が協力して行うプロジェクトに提供されます。

※3年前の財団年次寄付金額の40%が「国際財団活動資金：WF」です。特にマッチング・グラントは、申請が多く承認されるまでに年度を越しているようです。

※個人向け補助金及びマッチング・グラントに関する説明は、下記ウェブサイトへ

<http://www.rotary.org/languages/japanese/downloads/index.html>

留意点：ロータリー財団の方針および指針に従わなかった場合、適切に使用されなかった補助金を地区が全額返済することになりかねず、最高5年まで補助金の受領が禁じられることがあります。



財団月間によせて

地区国際親善奨学金委員会

委員長 土橋 信男 (札幌南RC)

本月は財団月間です。財団プログラムのうちで最大のものが財団国際親善奨学金制度です。このプログラムは、国際理解と世界平和を促進するために、未来を担う若い世代を世界各地に相互に奨学金により派遣し、国際的感覚と異文化理解の感覚を持つリーダーシップのある青年として育てることが目的で、ロータリーの目的である世界平和の達成への人材育成という意味で最も重要なプログラムだと言えます。

以下に、簡単にその沿革と本地区の今年度の取組みを記しました。各位においてはこのことをご理解いただき、財団へのご芳志をお願い申し上げます。

1 財団奨学金の沿革と変遷

ロータリークラブの創設者、ポール・ハリスを記念するプログラムとして1947年に創設された国際親善奨学金制度はその規模においても、歴史においても世界最大のもので、ロータリー精神を最もよく表しているものだといってよいといえます。

日本からの最初の派遣は1950年、その中の1人が前国連難民高等弁務官、そしてJICAの新理事長となった緒方貞子さんでした。現在、毎年派遣される全世界の奨学生数は約1,000名。これまでの累積は約35,000名になるということです。日本から選ばれている奨学生は約300名で、世界でも1、2番目に多い数です。奨学生は帰国すれば学友となりますが、学友の数は約7,000名になっています。

北海道の最初の名誉ある奨学生は女性で、1962年のことでした。それ以来毎年2～3名の派遣で推移していましたが、近年は毎年10人前後を選考してきています。

最初のうちは男性が圧倒的に多かったのですが、やがて女性が増え始め、10年前の1993年以降は女性が男性より多くなり、この数年は女性が圧倒しています。

なお、現在の奨学金の種類は、12,000ドル（3ヶ月）、19,000ドル（6ヶ月）、25,000ドル（1年）、24,000ドル（2年）の4種類があります。

2 本年度の取組み

本地区における奨学金の募集は毎年1月から行い、4月に締め切っています。申請書はクラブへ提出し、クラブからの推薦があった申請者を国際親善奨学金委員会で特別委員を加えた選考委員会を構成し、6月に書類、そして面接による選考によって最終合格者を決定しています。

本年度の応募者は30名。書類選考を通過した22名について面接し、11名を合格者とししました。合格者は財団で行われる最終審査のための書類を作成、ガバナーの承認を得て9月に送付、1月に行われる最終発表を待っているところです。

本地区では、こうした派遣奨学生の他に、第5010地区（アラスカ及びロシア極東地区）からロシアの奨学生を受け入れるための寄贈プログラムがあり、1999年以来毎年2名を3ヶ月間受け入れてきました。

しかし、本年は選考された奨学生が2人とも留学を取りやめたので、ロシアからの奨学生は来ないことになりました。

それに代わるように、グアムからの国際親善奨学生1名が、本地区への留学を希望してきましたので、受け入れることにして、ホスト（受入）クラブを札幌大通公園RCに依頼し引き受けていただきました。

派遣する11名と、受け入れる1名については、次に紹介します。

3 国際親善奨学生の紹介

以下に派遣する国際親善奨学生を紹介します。紹介の内容は、氏名、奨学金の種類、現在の所属、スポンサークラブ、留学希望国、そして選考に合格した喜びの一言です。



小野寺典子 3ヶ月 専門学校講師
札幌はまなすRC ドイツ

学生時代のゼミでドイツの教育や福祉の特色を知り、いつか留学したいと願っていた夢がロータリー奨学生としてかなうことになり感無量です。心から感謝します。



田口雅子 3ヶ月
北海道文教大学3年生
恵庭RC カナダ

英語の教員を目指すものとしてカナダの大学で英語教授法を学ぶ機会を与えられ身の引き締まる思いです。子連れ留学となります。親子ともども元気に乗り切りたいです。



竹原佐知 3ヶ月 藤女子大学3年生
札幌はまなすRC オーストラリア

念願が叶いオーストラリアで学ぶことが出来ることを感謝しています。いずれは人のために役立てる人間になれることを目指し、精一杯自分磨きをしてこようと思います。



本田康二郎 3ヶ月
北海道大学大学院博士課程
札幌西RC フランス

科学技術倫理を専攻しているものとして、この分野で独創的な研究者の多いフランスで語学の習得の機会を与えられ感謝です。充実した時を過ごせるよう全力で取り組みます。



若山薫里 3ヶ月 北海道大学2年生
新札幌RC 韓国

夢だった留学に一步近づき意欲が湧いています。韓国では語学の勉強にとどまらず、人々や風土にも触れ、親善大使としての役割を果たしてきたいと思っています。



鳴海ゆきの 6ヶ月 NPO職員
札幌モーニングRC スペイン

平和教育の研究と国際機関で働くために英語以外の語学としてスペイン語の習得をする予定です。日本との架け橋として、また親善大使として努力いたします。



徳織智美 6ヶ月
北海道大学大学院博士課程
札幌西北RC セネガル

アフリカ研究において欠かせない語学の習得に加えて、現地の文化や社会を学ぶためにセネガルを留学地として希望しました。自分の可能性を広げるために努力してきます。



笹村久美子 1年
北海道大学大学院修士課程
苫小牧北RC ロシア

スラブ社会文化論を専攻するものとしてロシアで1年の留学の機会を与えられ非常に嬉しく思っています。国際親善使節としての役割を果たせるよう努力してまいります。



浅野仁子 1年 HBC勤務
札幌西RC イングランド

イギリスの大学院で「メディア教育」について学ぶ予定です。自分の歩みを確かめつつ、更に新しい分野への挑戦を始めます。大きなチャンスを与えて頂き感謝で一杯です。



任明秀 2年
北海道大学大学院修士課程
岩見沢RC 韓国

留学によって日本と韓国と在日という三つのコミュニティを理解することが可能になると思います。学問的にも人間的にも成長する機会を与えて下さり深く感謝します。



水島梨紗 2年
北海道大学大学院博士課程
札幌北RC カナダ

対人コミュニケーションの研究をカナダの大学院で2年間行える機会を与えていただき心より感謝です。積極的に現地の方々と交わり国際親善の役割を果たす所存です。

グアムからの受入奨学生



ロレーナ・スナア (Lorena Snaer) 3ヶ月
グアム大学4年 トゥモンベイRC
札幌大通公園RC (ホストクラブ)
グアムからきました。8人姉姉の末っ子です。ホストファミリーの川西さんの家族と、札幌大通公園RCの皆さんに親切にしてください有難うございます。一生懸命に日本語をI A Yで勉強します。ヨロシクお願いします。



勢ぞろいした11人の奨学生



空港で出迎えた川西ホストマザーと阿辺ホストロータリアンとにかこまれて



GSE派遣メンバーフィリピンへの船出

地区GSE委員会

委員長 山名善久 (札幌南RC)

平成16年2月18日から3月24日までの5週間、当地区からのGSEメンバーが職業研究のために派遣されます。今回は4人の若者がRI第3830地区・フィリピンに出発します。4人のメンバーについては地区のホームページで紹介していますが、彼らは既にフィリピンに出かけるための船出をしました。メンバーは佐久間慎二 (北海道新聞)、紺野拓美 (桜井美容室)、小嶋裕美 (札幌社会保険総合病院)、福地信昭 (北海道赤十字血液センター) の4人と、船長役の戸部謙一リーダー (札幌西ロータリークラブ) の合計5人です。

GSE委員会は、この若者達がGSEプログラム

で最も大きな成果を挙げることが、このプログラムに対する財団からの資金を最も効果的に活かすことになると考えています。そのために委員会では事前指導を充実する目的で、派遣のための研修係を作り、委員会全体でバックアップする体制を作りました。実際の事前研修会は既に出発の1年前にあたる今年の2月に始めました。それ以後月1回の割合で開かれています。

第1回の研修会は2月25日にルネッサンス・ホテルを会場にして、選ばれた4人のメンバーと戸部リーダーがはじめて一堂に会しました。最初の研修会であることから、この会には委員会の研修係だけでな

く、GSE委員も全員が出席する形で進められました。最初に山名委員長からロータリーとGSEに関して説明がなされました。その他、戸部リーダーからフィリピンについて、GSE委員から現地での研修等について説明がありました。更に、4人のメンバー各人に、英文文書作成その他の相談相手として4人の委員が割り当てられました。

現在までに8回の研修会が実施されました。残り4回の研修では現地で行う英語でのプレゼンテーショ

ンやGSEプログラムのための英語会話の練習その他を行う予定です。出発前には研修会の成果を披露する会、壮行会なども計画しています。GSE委員会としては、私たちが派遣する4人の若者が、昨年フィリピンから受け入れた若者が当地区で経験したと同じような感動を心に持って帰ってくることを心から期待しているところです。

(文：高橋 宏地区GSE委員)

10月11日に行われた自主研修の様様



オン・ツー・大阪委員会

2004年 O S A K A で世界と出会おう

ロータリーの国際大会が26年ぶりに日本で開催されます。国内外から4万人のロータリアンが関西に集い、日頃の活動報告やワークショップなど国際交流の年間最大イベントが行われます。関西のおもてなしの心にふれ、新たなるロータリーの未来を語り合う場所として大会に是非ご参加ください。大阪の会場は大阪ドームのほか、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルとなっており5月23日(日)から始まり、5月26日(水)の21時30分までの閉会式で終了いたします。開催地であります2660地区の方々及び周辺地区の方々は大変張り切っており日本全地区から25,000人位を参加予定に考えております。当地区も700名位は参加して頂きたいと計画しております。会員の方のみならず、ご家族でご参加するの家庭

の絆を深めるには格好のチャンスと考えられます。そして、大阪においては「北海道ナイト」もこの計画に入れて楽しみを深めてみたいと考えております。またこの大会に並行して青少年交換や国際研究会が開催される予定になっております。国際大会は地区大会とは違った国際色豊かな楽しめる大会であります。オン・ツー・大阪委員会ではAコース(1泊2日)、Bコース(2泊3日)、Cコース(3泊4日)を計画しました。又、オプションツアーも揃え皆様に国際大会を共に楽しんで頂こうと考えております。是非来年の大会には地区の方々とお大阪で交流を致しましょう。

(地区オン・ツー・大阪委員長 岩城 秀晴)

国際ロータリー2004年 国際大会(関西)スケジュール予定

月日(曜)	時間	行 事	開 催 場 所
5月20日(木)	午 後	プレコンベンション登録	大阪国際会議場等
5月21日(金)	終 日	プレコンベンション	大阪国際会議場等
5月22日(土)	終 日 終 日 終 日 夕 刻	友愛の家 プレコンベンション ホスト主催京都デー ホスト主催ウェルカムイベント	リーガロイヤルホテル 大阪国際会議場等 平安神宮他京都各所 NHKホール他周辺
5月23日(日)	夕 刻 終 日	開会式 友愛の家	大阪ドーム リーガロイヤルホテル
5月24日(月)	午 前 午 後 終 日 夕 刻	第2本会議 討議とワークショップ 友愛の家 ホストホスピタリティの夕べ	大阪ドーム 大阪国際会議場等 リーガロイヤルホテル 未定
5月25日(火)	午 前 午 後 終 日 夕 刻	第3本会議 討議とワークショップ 友愛の家 ホスト主催パークフェスタ	大阪ドーム 大阪国際会議場 リーガロイヤルホテル ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
5月26日(水)	午 前 終 日 夕 刻	第4本会議 友愛の家 閉会式	大阪ドーム リーガロイヤルホテル 大阪ドーム

＜航空+ホテルのセットプラン＞

Aコース：1泊2日コース/2004年5月23日(日)～5月24日(月)

月日(曜)	ス ケ ジ ュ ー ル	食 事		
		朝	昼	夜
5月23日(日)	11:00頃 新千歳空港 → 13:00頃 伊丹空港 → 大阪ドーム			
5月24日(月)	ホテル …………… 伊丹空港 → 15:00頃 新千歳空港	ホテル		

Bコース：2泊3日コース/2004年5月23日(日)～5月25日(火)

月日(曜)	ス ケ ジ ュ ー ル	食 事		
		朝	昼	夜
5月23日(日)	11:00頃 新千歳空港 → 13:00頃 伊丹空港 → 大阪ドーム			
5月24日(月)	終日自由行動	ホテル		
5月25日(火)	ホテル …………… 伊丹空港 → 15:00頃 新千歳空港	ホテル		

Cコース：3泊4日コース/2004年5月23日(日)～5月26日(水)

月日(曜)	ス ケ ジ ュ ー ル	食 事		
		朝	昼	夜
5月23日(日)	11:00頃 新千歳空港 → 13:00頃 伊丹空港 → 大阪ドーム			
5月24日(月)	終日自由行動	ホテル		
5月25日(火)	終日自由行動	ホテル		
5月26日(水)	ホテル …………… 伊丹空港 → 15:00頃 新千歳空港	ホテル		

※航空設定便以外のご希望の方は、申込書の備考欄に希望日、時間帯をご記入願います。

各コース旅行代金のご案内 (予定)

- Aコース 49,000円
- Bコース 59,000円
- Cコース 69,000円
- 最少催行人員：各コース20名様以上
- 添乗員：同行致しませんが、係員が斡旋いたします
- 食事：日程表に記載
- 利用予定航空会社：日本航空・全日空
- ホテルクラス：スタンダードクラス
(大会事務局にて割当てます)

<宿泊のみプラン>

- 宿泊日：5月23日(日)・24日(月)・25日(火)
26日(水)
- 宿泊代金：10,500円(予定金額)
(1泊朝付きサービス料金、税金込み・シングル部屋)

<宿泊ホテルについて>

今回はRotary Internationalとの契約に基づいて、ホテルを海外参加者と国内参加者に分けて手配致します。日本に不慣れた海外参加者には、大阪国際会議場や大阪ドームなどの会場にアクセスが便利な大阪市内のホテルを割当て、国内参加者には大阪周辺都市を中心に割当てる予定です。

現在、当地区の皆様には、神戸地区のスタンダードクラスのホテルが割当てされる予定です。実際のホテル名につきましては、当地区として、どの位の部屋数が必要かにより、割当てされるホテルも異なってきます。

2003年12月15日(月)が第1次宿泊申込切日です。この日までに、宿泊申込をお願い致します。この日を過ぎますと、ホテル確保が非常に困難となりますので、ご協力の程お願い致します。

<お申込方法>

- ◆ お申込金／おひとり様 10,000円
- ◆ お申込方法／参加申込書にご記入の上、下記宛先までFAX又は郵送にてお申込ください。お申込金は下記口座へ2003年11月25日(火)までに振込願います。振込送信者氏名欄の前にRCと記号を入れて振込願います。

例) 振込依頼人 RCやまだ たろう
申込書送付先／JTB法人営業札幌支店内
「ロータリー札幌ツアーデスク」
住所：〒060-0003 札幌市中央区北3条
西4丁目 日本生命ビルB1F
TEL：011-231-6677
FAX：011-232-5320
お申込金振込み口座／北洋銀行札幌駅南口支店
普通 131964
ジェイティービー法人営業札幌支店

<参加申込書送付後のスケジュール>

2003年12月15日(月)第1次宿泊申込切後、大会事務局より割当てホテルが確定、ホテル料金も確定しますので、お申込を受けた皆様へは、JTBより2004年1月15日頃、ホテル名確定、旅行代金確定のご案内並びに残金ご請求のご案内をさせていただきます。

なお、お申込金につきましては、ホテルデポジット(予約金)として充当させていただきますので、2003年12月16日(火)以降、取消されても返金できませんので、ご了承願います。(ロータリー大阪ツアーデスクとの取決めにより)

<北海道ナイトのご案内>

日時：2004年5月23日(日) 午後7時より
場所：大阪市内にて
会費：7,000円(予定)

申込方法：申込書に記載し、JTB宛に送付、代金はJTBの口座へ振込願います。振込送信

者氏名欄の前に R C と記号を入れて振込願います。

例) 振込依頼人 R C やまだ たろう
 会費振込口座/北洋銀行札幌駅南口支店
 普通 1 3 1 9 6 4
 ジェイティービー法人営業札幌支店

< オプショナルツアーのご案内 > 予定

- 最少催行人員：各コースともに20名様以上
- 添乗員同行
- 全コース昼食付き
- ツアー催行日：2004年5月24日(月)・
5月25日(火)
- ①京都ハイライト1日ツアー/12,000円
金閣寺-清水寺-嵐山-平安神宮
- ②京都トロッコ列車と保津川下り/
旅行代金おひとり様 15,000円
- ③奈良公園3名所めぐり1日/12,000円

奈良公園 (東大寺大仏殿-春日大社-興福寺・
 国宝館)

- ④神戸市内めぐり1日/10,000円
 神戸異人館街(車窓)-淡路ハイウェイオアシス-利き酒と見学-六甲山
- ⑤関西ゴルフツアー/平日プレイ 30,000円(送迎付き)
 関西地区名門コースでのプレイ!

参加旅行・宿泊のお問合せ先

J T B 法人営業札幌支店内
 「ロータリー札幌ツアーデスク」
 住所：〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目
 日本生命ビルB1F
 T E L : 011-231-6677
 F A X : 011-232-5320
 担当：高野(たかの)・東(あずま)

～楽しいイベントやショップで国際交流を深めよう～

= 友愛の家紹介 =

国際大会のひとつの花は、「友愛の家」のプログラムです。大阪国際会議場のエントランスとリーガロイヤルホテルの大宴会場とロビー、またステージを含めて3階および2階のほとんどすべてが「友愛の家」広場となります。

多くのロータリアンと気軽に触れ合う場にもなります。

●展示ブース

- ・ロータリーの奉仕プロジェクトの写真展示
- ・ロータリー99年の歴史の流れを見る
- ・ロータリー第2世紀へ向けての計画

●販売コーナー

- ・ロータリーグッズ
- ・日本のおみやげ
- ・その他、国際大会(関西)記念グッズなど

●軽食コーナー

- ・サンドイッチ、ホットドッグなどの軽食や、お好み焼きやたこ焼きなど関西の食も取り揃える予定

●呈茶席

- ・日本の伝統文化である茶道の体験コーナー。裏千家による茶道デモンストレーションを含めての紹介コーナー

●イベントコーナー

- ・ステージでの日本舞踊、日本楽器演奏(三味線、尺八、琴、笛など)
- ・ジャズ、スウィング、ブラスバンドなどの演奏を予定
- ・他、大道芸、チンドン屋等の出演も計画中

●インターネットカフェ

- ・自由にインターネットを楽しんでいただくコーナー

「友愛の家」もまだまだ計画段階です。上記は一例でこれから開催に向け、内容をさらに充実させるべく準備を進めてまいります。

「友愛の家」で、世界のロータリアンとの交流を深めましょう!

2003～2004年度ライラセミナージュニアクラス報告

日 時 2003年9月13日(土)～14日(日)
場 所 札幌NTTセミナーセンター
参加者 新世代67名、ロータリアン26名

今年度のライラセミナーは「平和をつくりだす」をテーマに平和について考えました。今や平和をつくり出すとは只単に戦争が無い状態を維持するだけでなく積極的にその因子である不公正や貧困を取り除いていこうとする動きに変化してきています。

「もし地球が100人の村だったら」というワークショップを通して体験的に学ぶ機会としました。このワークショップは単に知識を得てそれを理解するばかりではなく、自らが体験や他者の意見をを通して主体的に考え結論を見いだしていこうとする作業ですから、参加者はワイワイガヤガヤとファシリテーターの指導に従って学習を深めることができ、特に飢餓とか不足、という体験や私たち日本人にはほど遠いものだし、配分する難しさなどは一時的とはいえ貴重な経験となりました。

参加者を40名と30名のグループに分け、参加ロータリアンにも手伝っていただいてそれぞれのプログラム参加度を高める為の努力をしました。又、30名のグループには8名の交換留学生も加わり英語の説明があったりして国際色豊かなものになりました。一通りのプログラムが終了した後、一人一人に振り返りの時間があり気づきや再確認や新たな発見がありました。

ワークショップ終了後は、小グループに分かれてグループディスカッションをし、それぞれが自分の振り返りについて発表しました。同じ経験をしても

そこから得られるものは人によって大きく異なる場合があることや自分の思いや考えを他者に伝えることの困難さが実感されました。また、大勢の人の前で話す機会の少ないメンバーにとっては、どきどきしながらも発表し賛同を得る喜びを味わうことができたのではないのでしょうか。

夕食・懇親会のあとは体育館でバレーボール、バスケットボール、卓球などの軽スポーツを楽しむ日頃会うことの少ない新世代間の交流を深めることができました。

翌日は、奥貫一之新世代委員長のご挨拶、宮崎善昭ライラ委員長の謝辞に続き、佐藤秀雄地区ガバナーより講評がありました。ガバナーからは「もっと元気良くやろう」と激励の言葉があり代表2名にアワーズが手渡されました。

この後、厚別区と白石区の体育館に移動して、折から開催されている聾啞者バレーボール大会のボランティアと見学をしました。私たちとは異なるバレーボールのルールで選手が思いっきり力を出してバレーボールの試合を楽しむことができるのを知り、まだまだ自分の殻に閉じこもっていて知らないことが多いものだと反省がありました。



ライラセミナージュニアクラスに参加して — 余市の高校生と共に —

地区ライラ委員会

委員 山田 昭 恵

去る9月13、14日に札幌市のNTTセミナーセンターにて開催された、本地区ライラ委員会主催のライラセミナージュニアクラスに、私立北星学園余市高等学校の男子生徒2名と道立仁木商業高等学校の男子2名、女子4名、引率の先生1名に参加して頂きました。

仁木の生徒は2年目の参加で、2名が連続参加でした。他校の生徒や、ロータリー交換留学生の面々と、ディスカッションやレクリエーションを通じて親睦交流を深め、生き生きと余市に帰って参りました。以下は、余市ロータリークラブにて発表されたそれぞれの感想です。私達ロータリアンが聞いていても、感動的なスピーチでした。地元でのリーダー養成、人材育成に一役も二役も買って下さった素晴らしいライラセミナーでした。

・北星学園余市高等学校2名の感想

鈴木康朗君—ライラのグループディスカッションで班長として発表させて頂いて、貴重な体験をしました。又、日本は豊か過ぎると感じ、自分も世界を

視野に入れた考えができる様になりました。これから、世界に何らかの形で貢献していけたらと思いました。

渡辺勇基君—一緒に参加した仁木商の生徒や他校の生徒と友達になれて、これも仲間の輪ということで、平和につながると感じました。食物を残したり無駄にしていた事も反省しました。

などと、身近な出来事から世界へと目配りするという心の広がりを感じました。

仁木商の生徒達もそれぞれ、テーマである「平和」について感じ入り深く思考した様で、地元でも、国際的に活躍する芽をもった高校生達が育成されているという実感を持つ事が出来ました。これも全て、本地区における新世代活動、ライラ、交換学生、インターアクトなどの育成部門の活動の賜物と、改めてロータリー活動の素晴らしさを認識した次第です。これからも、余市ロータリークラブとして、沢山の子供達をライラセミナーに送り出したいと思います。

(写真：余市RC平形秀哉会員)



ガバナーを囲んで盛り上がる、仁木商業の高校生達と交換留学生達ですがメール番号を教えあったり、なごやかな交流が芽生えていました。



余市RC例会にてスピーチする仁木商業の皆さんですが、ライラで体験した感動を一人一人の言葉で話していました。

2003～2004年度ライラセミナーシニアクラス報告

日 時 2003年9月27日(土)～28日(日)

場 所 札幌JR研修センター

参加者 新世代25名、ロータリアン31名

「平和」は無為無策ではあり得ない。「つくり出す」という能動的な人間の態度、行動の結果、平和になり得るのであるという基本的な考え方について再認識あるいは自己刷新することがセミナーの大きな目的です。

1日目は北海道被爆者協会から服部十郎先生をお招きし、講演とビデオ上映により広島での被爆経験を通して戦争の悲惨さ、人間の非業さを学習しました。経験者の語る内容には迫力と真実の重みがあり聞く者全てを釘付けにしました。

原爆ではありませんが、今この瞬間にも世界中で紛争や戦争により、多くの人々が被害者として同じように苦しんでいることを覚えさせられました。

夜の夕食懇親会は、地区ローターアクト柳孝一委員長の進行により日本人と奨学生がテーブルを同じくして夜が更けるまで熱く語り合いました。

翌日は参加者による意見発表がありました。それぞれの平和について関心のある事柄や昨日の講演に関する感想、意見など様々な文化や体験を通じた異なる意見が出て教育や文化・習慣、経験によって大きく考え方が異なることを実感しました。相互に差異を受容することが、これから人間が平和を築く上

で必要な営みの第一歩であることがよく理解できました。

ロータリークラブに連なる私たちは、「平和」を国家や制度という側面ではなく、1人1人の人間が人道という側面から「平和」について行動を起こすことが求められていることに改めて気が付きました。

義務を果たしさえすれば後は世界に12億人の貧困の人がいても何もしない傍観者であって良く、自分さえ平和であればそれを良しとする国家中心主義の時代はすでに過去のものになりつつあります。

次代を背負う新世代やロータリアンが決して傍観者にならず「平和をつくり出す」ことを自らの価値観の中に組み込んで生きることを参加者一同が願いつつ、佐藤秀雄地区ガバナーの励ましと勧めを頂き、多くの方々のご協力により会を閉じることができました。(報告：宮崎善昭地区ライラ委員長)



ロータリー市民フォーラム

児童虐待、タイからの報告と日本の対応

子供を取り巻く環境が日々悪化しており、新聞紙上でも子供が加害者、または被害者となるいたましい事件がいくつも報道されております。この極めて深刻な事態を、どう受け止め、どう対処すべきなのか。ロータリアンと市民と一緒に考えるフォーラムです。

特別講演（通訳付き）をタイで子供や女性に対する虐待問題に取り組み、駆け込み寺を設立して自立への手伝いを自ら行っているパベナ財団の理事長、パベナ・ホンサクンさんをお願いしています。その後、日本の現状を専門家の方からお話を聞き意見交換する会です。

他の国で起きている事という認識はもはや日本でも通用しなくなっております。タイの現状と併せ、今起きている深刻な事態の延長上にある日本の児童虐待の本質を皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

多くの方の参加をお待ちします。

記

タイトル：ロータリー市民フォーラム

「児童虐待 タイからの報告と日本の対応」



特別講演：パベナ・ホンサクン氏
(タイ国・パベナ財団理事長)
通訳が付きまます。

パネルディスカッション

谷口 晃氏 (札幌市児童相談所・児童虐待対応担当)

太田 耕平氏 (医療法人耕仁会札幌太田病院院長
北海道社会教育委員)

松本伊智朗氏 (札幌学院大学文学部教授、北海道
子どもの虐待防止協会事務局長)

質疑応答

日時：11月29日（土）午後2時～5時

場所：札幌道新ホール（札幌市中央区大通西3丁目）

主催：国際ロータリー第2510地区

社会奉仕委員会、世界社会奉仕委員会

協賛：北海道社会福祉協議会、北海道子ども学会、
北海道子どもの虐待防止協会

後援：北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市
教育委員会、北海道新聞社、UHB北海道文
化放送

入場：無料（定員があります。当日はお早目にご来
場下さい）

子供と女性の為の、
パベナ・ホンサクン財団



バンコクの「クレットラカーン」の家は政府が運営し、虐待を受けたり騙されて売春を強要された子供と女性のために心のケアをする施設です。それと共に彼女たちが将来、仕事を探せるように教育し、仕事の研修を

行っています。ある日パベナさんはその施設を訪問しました。そこで編物をしていた11歳ぐらいの女の子と出会ったことが今でもまだ目に浮かぶそうです。パベナさんは「何でここに来たの？」と彼女に聞きました。そうすると、その子が「義父に淫売屋に売られて、警察に助けってもらったので、ここに来ることができました。」と答えました。その瞬間、パベナさんは、たった11歳の子が身近な人に騙されて、淫売屋に売られるなんて、と非常に驚いたのです。パベナさんは自分の子供を自分の命より心配し、愛し、大切に育て、温もりを与え、十分にご飯を食べさせてきた母親として、このような差異を見て忍び泣きしたのでした。パベナさんはその後、何回も同

じような状況に陥った子供達に会ったのです。パベナさんは人の人生がこんなにひどいなんて知らなかったし、想像したこともなかったのです。その時から、子供と女性を救う仕事をしなければと決心したのです。それが動機で仲間と子供と女性の為の、パベナ・ホンサクン財団を設立しました。(パベナ財団のパンフレットからの抜粋)



全ての命は貴重である

あなたのたった一本の指でこの涙が止められる

緊急4つの番号をフリーダイヤル 1134

(パベナ財団のパンフレット表紙から)



パベナ・ホンサクンさんの略歴

バンコク選出国會議員

行政と民間セクターの提携による青少年問題の

円滑処理及び協力に関する委員会委員長

労働社会福祉省副大臣

総理府長官

児童及び女性のためのパベナ基金 理事長

バンコク空港ロータリークラブチャーターメンバー



当地区とのかかわり

4年程前、当地区世界社会奉仕委員会はこのパベナ財団に寄付をして活動の支援をしました。それをきっかけに、地区内のいくつかのロータリークラブ、ロータリアン個人が財団を支援するために独自に寄付をしており、いくつかのグループはバンコクにある財団本部を訪問し、救助され保護されている子供達と面談しております。

(文：対木正文地区社会奉仕委員長)



新世代・青少年交換委員会報告

佐藤秀雄ガバナー主催、懇談会開催報告

〔テーマ：青少年交換事業の望ましい方向性を探る〕

去る9月28日(日)午後3時より5時までの2時間、ライラセミナー終了の熱気もさめやらぬ札幌JR研修センターにて、「青少年交換事業の望ましい方向性を探る」をテーマに、ガバナー主催の懇談会が開催された。

出席者は次の方々です。

佐藤秀雄ガバナー、遠藤秀雄ガバナーエレクト、武石忠俊代表幹事、木村照男代表幹事、大川健一幹事、伊藤長英新世代委員会カウンセラー(PG)、奥貫一之新世代委員長、野澤幸平青少年交換委員長、以下青少年交換委員10名、長澤昇司(札幌東RC)、渡邊葉子(札幌西北RC)、高橋康則(苫小牧北RC)、上出利光(札幌西RC)、後平幸太郎(函館五稜郭RC)、菊池恒(札幌南RC)、馬場信吾(北広島RC)、赤裏茂(札幌モーニングRC)、荒木麻子(余市RC)の計18名にてとり行われた。残念ながら、前青少年交換委員長で現委員の清水慧子氏は欠席、渡辺哲則委員は所用の為、途中退席された。

佐藤ガバナーの開会挨拶を皮切りに、大川地区幹事の司会で、まずは、伊藤長英新世代カウンセラーより、委員会の歴史やあるべき姿をレクチャーして頂いた。

伊藤長英新世代カウンセラーよりのスピーチ

私は、地区新世代委員会カウンセラーの立場でお話をさせていただきます。国際ロータリーの手続要覧の第8章が、青少年への奉仕から新世代のためのロータリー・プログラムへと変更になったのは、1996年です。新世代のためのロータリー・プログラムとは、インターアクト、ローターアクト、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)および青少年交換です。新世代とは、0歳から30歳までの若い人すべてを含みます。1999年5月私のガバナー年度の地区大会において「新世代の未来を築くフォーラム」を開催したことはご存知の方も多と思います。現在の新世代委員長である奥貫さんは当時地区幹事でしたが、そのフォーラムのコーディネーターを引き受けて頂きました。清水慧子さんには新世代委員として大変協力して頂きました。それ以来新世代委員会の行事にはインターアクト、ローターアクト、青少年交換学生は勿論、財団奨学生や米山奨学生でも30歳以下の人には参加して貰うようにしています。

2000年9月には、当地区においてしばらく中断していた「RYLA」を復活させ、新世代の皆さんが大勢参加されました。

それ以来毎年ライラセミナーが行われています。2002年7月からの小林年度には、地区組織も手続要覧の通り改められました。即ち、新世代委員会はインターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会およびライラ委員会で構成されています。私が常に強調していることは、縦割りの組織にこだわらないで横の連絡を密にして行動することが大切であるということです。したがってライラには、新世代委員会のメンバーだけでなく、財団奨学生や米山奨学生にも参加して貰うようにしています。

さて、青少年交換事業は当地区では1969年以降これまで300人余の派遣と、略同数の受け入れを行っています。今までの歴史を振り返ってみますと、いろいろな問題は全員の協力によって解決してきています。歴代委員長さんは3年任期が普通で、時には2年で交代された方もおります。地区委員も任期は3年までと言うロータリーの良き慣例に従っていきたいものです。

今年度、野澤委員長のもとで委員会において不協和音があるように耳にしますが、私が思うことは、ロータリアンらしく行動して欲しいということです。ロータリー精神の基本は思いやりと助け合いです。昨年度のラタクルRI会長は、「慈愛の種を播きましょう」のテーマを掲げ、慈愛の心を強調されました。今年度のマジニアベRI会長は、「手を貸そう」と言っておられます。私の年度のレイシーRI会長は、「ロータリーの夢を追い続けよう」というテーマを掲げ、思いやりの心を強調されました。全員がそういうロータリー精神をもって委員会を運営して欲しいと思います。そうすればどんな問題にぶつかっても容易に解決できるでしょう。これからも青少年委員会が委員全員の協力によってスムーズに運営されることを期待しています。

新旧青少年交換委員にとっては、意義深い、今後の新世代活動の在り方を示唆する伊藤カウンセラーの素晴らしいレクチャーであった。

次に、大川地区幹事より、「今後の委員会活動の為に、忌憚のないご意見を」という事で、パネラー4人の委員の方々からの発言を頂いた。

青少年交換委員になり3年経過し、4年目の渡邊

葉子委員（札幌西北RC）より、

1. 情報の公開
2. 委員会の運営方針提示
3. 事業計画
4. 年間予定の作成
5. 委員からの問い合わせにはご返事頂きたい
6. 地区の方針は委員に伝えて頂きたい

又、委員会に相談無く9640地区の交換を断った事、ガバナーから交換人数の提示をされているに関わらず情報をお知らせ頂けない等、情報の公開が無い為、委員としての役割を果たすことも難しい状況である旨お話しさせて頂きました。との意見が出された。

次に長澤昇司（札幌東RC）、青少年交換委員を5年間務めていらっしゃるベテラン委員から、

『札幌東RCの長澤でございます。1月から現委員長野澤委員長が委員会行事に参加しましたが、委嘱状の関係と、たしかおっしゃっていましたが、オブザーバー的な参加でありました。

その後7月に入り、7月12日の委員会で決めた事などが、実行されず、委員会開催が必要であるという意見を反映し、7月27日にオーストラリアに派遣する学生がまとめて千歳から出発するので、千歳に委員が集まるからという理由で、ガバナー事務所をお借りして3時間半以上の時間を使い話し合い、8月10日までに事務局を立ち上げる、等の委員会決定がされましたが、履行されず、委員会が困窮する結果となりました。私は委員長が学生ではなく、地区の上にばかり顔が向いていると思いますし、オーストラリア9640地区を委員長の独断でプログラムを断った事を今日知りました。9640地区は当地区内に友好クラブがある密接な関係の地区です…（ここで大川さんが割って入り、9640地区は当恵庭クラブに友好クラブがあると話しはじめた…）以上です。

次に、本年度からの新委員の高橋康則委員（苫小牧北RC）より、「今年度の青少年交換委員会事業の相対的な遅れは、何が原因かは未だ明確ではないが、新旧委員のちょっとしたボタンの掛け違いであったと思います。例えば、受入れ学生の為に出来るだけ早期に実現すべきであったキャンプもいろいろな行き違いから、10月中旬になった訳ですが、伊藤PGからのお話もありました様に横並びの新世代活動でありますライラの日程と受入れ学生のキャンプを、重ならない様にとの委員会決定があったにもかかわらず、一部の旧委員が同日に強行しようとした過程があり、決して委員長の責任ではありません。旧委員が延ばし延ばしにした結果であると思います。

今後は、現委員長を支え、皆でがんばりたいと考えます。」とのお話がありました。又、最後フリーディスカッションの折、高橋委員からは、今後、来年度より、ライラセミナーと受入れ学生のキャンプを合同で行いませんか、という画期的かつ合理的、そして、新世代、つまりインターアクター、交換学生、ローテックス、一般新世代が、ロータリーの目的のひとつである親睦、友好を深める最適の場になるという大変、建設的、前向きな提案が成された。

これについては、奥貫新世代委員長からも、「大変、素晴らしい御提案です。ぜひ、実現させて頂きたいと願っております。」とのコメントがあった。

続いて、上出利光新委員（札幌西RC）より、

「私は公私共に、旧委員の皆様には、娘の留学等で大変お世話になっており、感謝しております。又、旧委員の皆様は当委員会の内容、役割、仕事を本当に良く理解され、実行されて来たと思います。しかし、後任の育成という観点から考えると、引き継ぎ時の資料の絶対的不足など、全く無力であり不満を感じざるをえません。ボタンの掛け違いもあったとは思いますが、今後の課題は、後任の育成における資料やマニュアルの確定などが必須だと思います。2ヶ月間、当委員会にて活動してきましたが、第1回目の青少年交換委員会引き継ぎ時の資料のなさには、本当に驚きました。」との意見が出された。

その後、他委員からも、事務局が予算上の問題より立ち上げられていないが、早急にとの意見や、メールの節度ある使用法、横並びの新世代活動の重要性、仕事の内容をできるだけ早く把握したい、現委員長には、より一層のリーダーシップを発揮して頂きたい、などと沢山の前向きな意見が出され、遠藤ガバナーエレクトとも、来年度の事業方針について綿密な打ち合わせをするということを確認し合った。

今回の懇談会により、青少年交換委員会事業の様々な点が浮き彫りになり、大変有意義な2時間となった。今後も、現委員長を中心として、世界に広がる人材育成を行い、そして、世界の平和を最終的な目標とするこの青少年支援事業推進に、心血を注ぐ事を誓い合いました。

最後は野澤委員長の決意表明と共に各委員一人一人の新体制への協力の誓いが述べられ大きな拍手の中で佐藤ガバナーが自ら熱情をこめて開催した懇談会は感動の渦の中で出席したメンバー全員に大きな勇気を与える内容で完結した事を報告します。

（文：木村照男代表幹事）

2003～2004年度 姉妹クラブ・友好クラブ一覽

地区友情交換委員会

委員長 金井重博 (札幌南RC)

2003.10.1現在

ク ラ ブ	姉妹クラブ・友好クラブ				ク ラ ブ	姉妹クラブ・友好クラブ			
	先方クラブ	地 区	国 名	友 好 姉 妹		先方クラブ	地 区	国 名	友 好 姉 妹
深 川	南海RC	3590	韓 国	姉 妹	小 樽 南	酒田RC (山形県酒田市)	2800	日 本	姉 妹
羽 幌					小 樽 銭 函	常陸大宮RC 立山RC	2820 2610	日 本	友 好
妹 背 牛					蘭 越				
小 平					余 市	会津若松城南RC	2530	日 本	姉 妹
留 萌	論山RC	3680	韓 国	姉 妹	千 歳				
赤 平	晋州仙鶴RC	3270	韓 国	姉 妹	千歳セントラル	長泉RC (静岡県)	2620	日 本	友 好
芦 別					恵 庭	バーレーヘッズRC	9640	オーストラリア	姉 妹
砂 川					北 広 島				
滝 川	千倉RC	2790	日 本	友 好	長 沼				
美 唄					由 仁				
江 別	カトマンズRC	3290	ネパール	友 好	え り も				
江 別 西					三 石				
岩 見 沢					様 似	馬山第一RC	3720	韓 国	姉 妹
岩 見 沢 東					静 内	脇町RC (徳島県) 洲本RC	2670 2680	日 本	友 好
栗 沢	砺波RC (富山県)	2610	日 本	友 好	浦 河	中壢RC	3490	台 湾	姉 妹
栗 山	角田RC (宮城県)	2810	日 本	姉 妹	伊 達	亘理RC (宮城県) 茅ヶ崎湘南RC	2810 2780	日 本	姉 妹
当 別	岩出山RC	2810	日 本	姉 妹	室 蘭				
札 幌					室 蘭 東	ウランバートルRC	3450	モンゴル	友 好
札幌あけぼの					室 蘭 北				
札幌はまなす	香長RC (高知県) ノンカイRC	2670 3340	日 本 タ イ	姉 妹 友 好	登 別				
札 幌 北	ウェルビーRC	9800	オーストラリア	友 好	洞 爺 湖				
札幌モーニング	川口モーニングRC・青森モーニングRC 旭川モーニングRC・京都モーニングRC	2770・2830 2500・2650	日 本	友 好	函 館 館	京都洛中RC 澎湖RC	2650 3470	日 本 台 湾	姉 妹 友 好
札 幌 西	西夕バオRC・マカティ西RC ユチカRC	3600・3820 7150	アメリカ・フィリピン アメリカ	姉 妹	函 館 亀 田	新発田城南RC (新潟県)	2560	日 本	友 好
札 幌 西 北	ヘルシンキ北西RC	1420	フィンランド	友 好	森				
札 幌 手 稲	名古屋瑞穂RC 高雄壽山RC	2760 3510	日 本 台 湾	友 好	七 飯				
札 幌 東	北ポートランドRC・釜山東南RC バンドンパレーRC	5100・3660 3310	アメリカ・韓国 シンガポール	姉 妹・友 好 友 好	長 万 部				
札 幌 清 田	松原中RC	2640	日 本	友 好	江 差	岩谷堂RC	2520	日 本	姉 妹
札 幌 幌 南					函 館 五 稜 郭	ラハイナRC 東京日野RC・東京飛火野RC	5000 2750	アメリ 日 本	姉 妹 友 好
札 幌 真 駒 内	東ポートランドRC	5100	アメリカ	姉 妹	函 館 東	青森東RC・長崎東RC 横浜東RC	2830・2740 2590	日 本	友 好
札 幌 南	東京東RC 金沢東RC	2580 2610	日 本	姉 妹 友 好	函 館 北	千葉港RC・和歌山城南RC 台北東北RC	2790・2640 3480	日 本 台 湾	友 好
新 札 幌	相模原東RC	2780	日 本	姉 妹	上 磯				
札幌大通公園					松 前				
札幌セントラル					白 老	仙台西RC ケネルRC	2810 5040	日 本 カ ナ ダ	姉 妹
岩 内	直江津RC ピーターズバーグRC	2560 5010	日 本 アメリ カ	姉 妹	苫 小 牧	相模原RC	2780	日 本	姉 妹
倶 知 安					苫 小 牧 東	網代多賀RC	2620	日 本	友 好
小 樽					苫 小 牧 北	石巻RC ダラデールRC	2810 9930	日 本 ニュージーランド	友 好

ある葬儀に参列して

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬三 (札幌幌南RC)

過日札幌山の手高校の教務担当の教頭で、サッカー部の監督をしていた酒井先生の葬儀に参列しました。西岡元地区ガバナー補佐、元地区代表幹事が葬儀委員長をされていました。先生は、45歳の若さでなくなられたのですが、教え子が全国各地から集まり、会場は人が入りきれないほどでした。

私がこれまでお会いした学校の先生方の中で、最も尊敬できる先生でした。先生とは、先生が公立中学の生物の教科を担当し、学年主任で、サッカー部の監督を兼ねていたときに知り合いました。先生は、中学のサッカー部を全国大会に導くほどの指導者でしたが、一部の優秀な生徒を重点的に指導することはなく、全ての生徒を平等に練習に参加させ、全ての生徒に対し、平等に生活面や、忍耐、協調などの精神面の教育を真剣に取り組んでいました。

1人の生徒が、試合にも出れないし、サッカーをやっても面白くないからとやめようとしたとき、彼は、サッカーの指導を他の先生に任せて、その子と真剣に話し合ったのです。簡単に諦める、出来ないから又は面白くないからやめるということは、その子の将来にとって、大きな損失である。

出来なくても頑張る。試合に出られなくても楽しむ。この様な精神を育てる事の方が、サッカーの技術を指導するよりもっと大事であると彼は言うのです。

そんな彼を西岡先生は認めて、札幌山の手高校に引き抜いたのですが、彼もより多くの生徒と接する

ことが出来る私立高校の先生を選んで赴任し、同じように人間教育を施しながら、同校のサッカー部を全国大会あと一步というところまで育て上げてきたのです。

通夜は、浄土真宗の海野住職(札幌幌南RC会員)が導師を勤めたのですが、弔辞の申し込みが多く、告別式では賄いきれないので、3人の生徒や親友が、通夜の席で弔辞を読み上げました。先生から、暖かい愛の鞭を繰返し繰返し受けても尚先生に惹かれ、中学高校と先生の元で6年間サッカーの指導を受けて立派な若者に育った子、現役のサッカー部の主将、大学のサッカー部以来の同僚の先生からの弔辞は、聞いていられないくらい感激しました。

西岡先生からの挨拶の後、奥さんが直接お礼の言葉を述べられたのですが、これも異例でした。その言葉の中で、彼は生前、「俺は、地位も名誉も金も財産も何も欲しくない。欲しいのは人だ。俺は人が立派に育つことが最も嬉しい。」と口癖のように語っていたということでした。45歳という短い人生でしたが、きっと多くの足跡をこの世に残されたことでしょう。ご冥福を祈ります。

アフリカの格言に「子供は、村中の大人の知恵がなければ育たない。」という言葉があるそうですが、一人の子は、家庭だけではなく社会全体で育てなければなりません。若い酒井先生がなしたことを私たちも真剣に考えてみたいと思います。

函館北ロータリークラブ報告

会長 北村 祐治

函館北ロータリークラブは、9月21日、函館ハーバービュー・ホテルにて、「創立40周年記念式典」と祝賀会を実施しました。

220名の参加のもと井上函館市長ご出席のもと、友好クラブの台北東北RC、和歌山城南RC、千葉港RC総勢90名を含み、盛大におこなわれました。

記念事業として行われたの三つのうちの一つ、世界社会奉仕をインドネシア第3400地区ジョグジャカルタ市タマンサリRCと提携し、公立テガル・レジョ第三小学校に図書1,500冊他コンピューター・ビデオ一式他、什器備品一式を現地駐在の会長の娘、恵子さんの交渉の下実施した。

その整備状況が函館北ロータリークラブのホームページ

<http://www.hakodate-north.org/topics/>
に掲載されてます。是非ご覧下さい。



40周年記念式典にさきがけて、当クラブと友好クラブを締結している台北東北、和歌山城南、千葉港の3クラブと友好クラブ締結証を交わし、引き続き友好を深めあうことを約束しました。



40周年記念事業でこの公立テガル・レジョ第三小学校の図書館を整備しました。



平成15年9月21日創立40周年記念式典が井上函館市長をはじめ多数の来賓の方々をお迎えして挙行されました。

(開会の挨拶をする中野亮実行委員長)



整備された図書館

お知らせ

今年度当地区が実施した「スリランカに中古自転車を贈ろう！」事業は、各グループ、各クラブの大変な協力により9月末現在自転車約800台、木製オルガン32台、ピアノ100台、笛100本が集まりました。上記収集した物品のうち、今回木製オルガン全部及び自転車約180台を10月10日(金)苫小牧港から船便で発送しました。

この配布先状況の視察を兼ね両地区の親善促進のため下記の要領でスリランカ行きの訪問団を結成したいと考えています。多くの参加者を募集いたします。

記

日 時：2004年1月24日(土)～1月29日(木)
(現地4泊、機中1泊 計6日)
(成田発コロンボ行きのスリランカ航空を利用予定)

訪問先：スリランカ国

(コロンボ市、キャンディ市ほか)

費用：17万～18万円予定

(全ての交通・宿泊・会食費を含む)

申込締切日：2003年11月30日(日)

申込先：地区ガバナー事務所

訪問団：訪問団長は佐藤秀雄ガバナー。参加人員は20名以内を予定。同伴も可

その他：(1)スリランカ滞在中ゴルフなど一度予定しています。

(2)現地ではコロンボRCのダヤシリさんが流暢な日本語でお世話を下さる筈です。

(3)希望者は帰路別行動にてモルジブに寄りシュノーケル、ダイビングを楽しむことが可能です。

祝 新入会員の紹介

滝川 RC



三品 優次 会員
7月3日入会

滝川 RC



深村 完市 会員
7月3日入会

滝川 RC



道中 和俊 会員
9月11日入会

室蘭東 RC



松永 英樹 会員
7月2日入会

室蘭東 RC



黒田 敏充 会員
8月27日入会

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌西北 R C 山藤 雅弘 会員 9月19日
江別 R C 吉田 欣司 会員 9月22日

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢東 R C 関 二三子 会員 9月12日
美唄 R C 高橋 誠 会員 9月19日
函館北 R C 今井 定一 会員 9月19日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

美唄 R C	海老名 元 会員	9月19日	第1回
	東野 碧 会員	9月19日	第1回
	池田 康治 会員	9月19日	第1回
	円子 保 会員	9月19日	第2回
	大竹 繁夫 会員	9月19日	第2回
	高田 義則 会員	9月19日	第1回
岩見沢 R C	武蔵 輝彦 会員	9月29日	第1回
札幌東 R C	堀田 昌資 会員	9月29日	第2回
札幌南 R C	福山 恵太郎 会員	9月9日	第2回
	今井 國雄 会員	9月9日	第2回
	後藤 由春 会員	9月9日	第2回
	トーキル・クリステンセン 会員	9月9日	第4回
	中井 孝光 会員	9月9日	第2回
	平 昌夫 会員	9月9日	第2回
	富樫 英樹 会員	9月9日	第3回
室蘭 R C	前田 迪夫 会員	9月5日	第1回
	佐藤 寿夫 会員	9月5日	第1回

米山功労法人

札幌真駒内 R C (株)札幌薬剤 9月19日

米山功労クラブ

札幌真駒内 R C 9月19日 第1回

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 44】

2003年10月10日発行

1. 寄付金速報 ～いよいよ米山月間です！

9月までの寄付金は、前年同期と比べ3.1%減、約1千2百万円の減少です。普通寄付金が0.3%減、特別寄付金が6.8%減です。10月に入り米山月間となりました。表彰制度改定にともない、米山功労者の感謝状も美しくモダンなデザインに刷新しました。長らくお待たせいたしました。10月中旬から順次お送りいたします。ぜひとも、寄付増進に向けて新表彰制度のPRをよろしく願いたします。

2. 今月の“よねやまだより”は特別座談会

ロータリーの友10月号の“よねやまだより”は、米山月間特集として、特別座談会と各種統計データを掲載しています。

座談会では、米山学友・大学の指導教員・ロータリアンという異なる立場の三者が集い、米山奨学事業の目指す「知的国際貢献」としての役割を考える熱い議論が展開されました。留学先としての日本の魅力は？留学生が日本の大学に与えるインパクトは？そもそも「知的国際貢献」とは何なのか？これからの米山奨学事業を考える一つの機会として、ぜひご一読ください。

3. 日韓親善会議で米山学友・奨学生が大活躍

9月25～26日に東京ベイホテル東急にて「第7回ロータリー日韓親善会議」が開催されました。26日午後のフォーラム『聞こえますか。日韓新世代の交流』では、3名の米山学友がパネリストとして参加しました。

20代、30代、40代という異なる世代の視点を反映した米山学友のプレゼンテーションは、それぞれ切り口は違いながらも、新しい日韓交流の始まりを両国の聴衆に印象づけるものでした。会議出席者からも高く評価され、フォーラムの最後には、パネリスト全員に惜しみない拍手が送られました。

なお、25日の開会式、懇親夕食会では、現役の米山奨学生が逐次通訳として参加しました。

4. 懸賞論文入賞者 決定！

第1回米山奨学会学友会セミナーの開催に先駆けて、

外国人留学生を対象に募集した懸賞論文の入賞者15名が、9月13日に決定いたしました。

280点もの応募の中から選考委員会による厳正な審査を経て最優秀賞に輝いたのは、母国・中国の大学で教鞭をとる米山学友・鄭愛莉さん【96-97年／京都紫野RC】の論文『平和と国際貢献—小さな舞台』です。優秀賞には、群馬県在住の米山学友・路潔さん（中国）他3名、入賞には、東京大学在学の現役奨学生ヴォ・チョン・ギアさん（ベトナム）他4名、入選には5名の方が選ばれました。

(http://www.rotary-yoneyama.or.jp/friend/fri_04.html)

入賞者のうち、現役米山奨学生は4名、学友が5名、残り6名は一般応募者です。入賞論文集は、10月11日の学友会セミナー報告とともに紀要にまとめて配布する予定ですので、どうぞお楽しみに！

5. 2002年度寄付総額第1位！

～東京五反田RCの寄付増進事例～

東京五反田ロータリー・クラブ(2750地区)は、2002-2003年度の寄付総額が約633万円で年間寄付額第1位になりました。長引く不況でどのクラブも寄付増進には苦心される状況の中、東京五反田RCの成功の秘訣はどこにあったのでしょうか。同クラブの村口正パスト会長にお話を伺いました。

Q1：寄付総額第1位につながった貴クラブの取り組みは、ずばり何でしょう？

A1：始めから目指していたわけではなく、結果としてたまたま1位になったというのが本当のところですが、もちろん、これだけの寄付が自然に集まったわけではありません。当クラブでは、ニコニコ会計にルールを設けて、特別会計基金を作ったことが寄付増進に功を奏しました。

Q2：どのようなルールを設けられたのですか？

A2：まず、クラブで会計処理基準を定め、ニコニコ会計を作りました。これは、最初から奉仕基金造成を目的としたため、奉仕活動以外では使用禁止とし、親睦会の費用などには支出させませ

んでした。このおかげで奉仕の基本金ができ、米山奨学会への支援をはじめ、三宅島救済活動、青少年交換などが行えたのです。

Q3：米山奨学会への厚いご支援は、どのような理由からでしょう？

A3：米山奨学制度は、日本のロータリーが世界に誇れる奉仕プログラムであると認識するからです。また、米山奨学会への寄付には免税措置が受けられるメリットもあり、寄付が増えたと考えます。

Q4：米山奨学生に対するイメージは？

A4：クラブ会員は、優秀な米山奨学生に対して、非

常に良いイメージを持っています。クラブとしても奨学生関係国を訪問するなどして交流や親善を深めており、良い結果が得られていることも一因でしょう。

ということで、今回は、ニコニコ会計を「奉仕基金」に活用された東京五反田RCの事例をご紹介します。

今後も米山奨学会では、学友の活躍や寄付増進の工夫など、皆様にお役立ていただける情報の発信に努めてまいりますので、ぜひ情報やご意見などお寄せください。よろしくお願いいたします。

(担当：峯)

文庫通信(193号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介・絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会及びI.M.のシンポジウムから

- ◎「青少年問題について」 青木和雄 他 2003 10p (D.2590地区大会)
- ◎「新世代に引き継ぐ奉仕の思想」 もず昌平 (コーディネーター) 2003 8p (D.2660地区大会)
- ◎「当地区における重要課題について」 岡本徳彌 (コーディネーター) 2003 12p (D.2590地区大会)
- ◎「ロータリーの基本について」 佐藤 孜 (コーディネーター) 2003 16p (D.2710IM)
- ◎「魅力あるロータリーを目指して」 香川 孝 (コーディネーター) 2003 8p (D.2670地区大会)
- ◎「今、何故地域教育力なのか？」 柳父立一 (コーディネーター) 2003 27p (D.2660IM)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

*** お 知 ら せ ***

このたび、1998年以降に登録した資料を新・資料目録として作成致しました。ロータリー研究の資料等には是非ご活用下さいますよう、ご案内致します。

「資料目録—総括ダイジェスト版—1998～2003」

頒布価格 1冊 400円 (送料別)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

*** 掲示板 ***

・クラブ事務局移転のご案内

- 1) 浦河ロータリークラブ事務局：所在
〒057-0033 北海道浦河郡浦河町塚町東2丁目1番6号
株式会社種本石材（浦河本店）
- 2) 浦河ロータリークラブ事務局：連絡先
tel ① (01462)2-5500 tel② (01462)2-8111
fax ① (01462)2-6666 fax② (01462)2-8111
e-mail : ta-jtte@technowave.ne.jp

・例会変更のご案内

江別西RC：11月11日(火)休会（定款第5条により）
芦別RC：11月21日(金)休会（定款第5条1節(C)）

・青少年交換委員会事務局のご案内

所在地：〒004-0021 札幌市厚別区青葉町9丁目4-15
TEL：011-806-2512（FAX兼用）
E-mail：yecd2510@khaki.plala.or.jp
事務局：土田義也（つちだよしや）

・地区組織図の変更について

地区青少年交換委員会委員の清水慧子会員（長沼RC）が委員を辞任されましたので、地区組織図及び地区名簿のご訂正をお願い致します。

・地区大会プログラムについて

地区大会プログラムP42の永年100%出席会員のうち、30年永年100%出席会員として後藤三雄会員（美唄RC）の記載もれがございました。深くお詫び申し上げます。（地区大会事務局）

訃報 心よりご冥福をお祈りします

西谷雅行 会員（七飯RC）
2003年9月7日ご逝去（享年74才）
ロータリー歴等
1982年4月入会
第21、28代会長
米山功労者



国本時夫 会員（苫小牧RC）
2003年10月19日ご逝去（享年81才）
ロータリー歴等
1982年7月23日入会
マルチプル・ボール・ハリスフェロー



9月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.9.30	増減	内女性	
1	深川	4	43	43	0	2	85.63
	羽幌	4	47	47	0	1	79.44
	妹背牛	4	10	10	0	0	90.00
	小平	4	16	16	0	0	76.56
	留萌	4	64	64	0	0	91.08
	小計		180	180	0	3	84.54
2	赤平	3	35	35	0	1	81.32
	芦別	4	58	57	-1	0	90.57
	砂川	4	55	55	0	0	97.04
	滝川	4	109	111	2	2	72.30
	小計		257	258	1	3	85.31
3	美幌	4	47	46	-1	0	88.37
	江別	4	46	47	1	2	86.66
	江別西	4	40	40	0	3	86.25
	岩見沢	4	100	101	1	0	92.37
	岩見沢東	4	34	36	2	3	83.82
	栗沢	3	33	33	0	2	91.00
	栗山	4	32	32	0	2	96.72
	当別	4	42	41	-1	0	81.71
	小計		374	376	2	12	88.36
	4	札幌幌	4	113	122	9	0
札幌あけぼの		4	18	18	0	1	100.00
札幌はまなす		4	30	30	0	5	83.93
札幌北		4	54	56	2	5	91.04
札幌モーニング		4	60	61	1	0	76.55
札幌西		4	74	77	3	2	92.67
札幌西北		4	50	51	1	2	86.37
札幌手稲		4	44	44	0	0	98.30
小計			443	459	16	15	90.82
5	札幌東	4	118	119	1	0	98.65
	札幌清田	4	29	29	0	5	99.38
	札幌幌南	4	81	79	-2	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	46	0	2	95.67
	札幌南	3	90	93	3	0	95.58
	札幌大通公園	4	19	20	1	5	78.95
	札幌セントラル	4	19	19	0	5	72.40
	新札幌	4	36	37	1	1	90.24
	小計		438	442	4	18	91.36
6	岩内	4	35	36	1	0	72.50
	倶知安	4	57	57	0	4	79.34
	小樽	4	88	89	1	0	87.33
	小樽南	4	86	86	0	0	82.24
	小樽銭函	4	22	22	0	3	84.09
	蘭越	3	15	15	0	0	80.00
	余市	4	46	46	0	4	82.03
	小計		349	351	2	11	81.08

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数(女性)	3,351人(96人)
増加会員数	47人
当月平均出席率	83.87%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.9.30	増減	内女性	
7	千歳	3	72	74	2	2	84.70
	千歳セントラル	4	31	31	0	0	77.20
	恵庭	4	50	50	0	0	85.63
	北広島	4	15	18	3	2	85.29
	長沼	4	17	18	1	4	83.30
	由仁	4	16	16	0	0	86.98
	小計		201	207	6	8	83.85
8	えりも	4	23	25	2	0	68.00
	三石	4	18	18	0	1	86.10
	様似	4	20	20	0	2	60.00
	静内	4	68	67	-1	0	80.32
	浦河	4	42	42	0	1	86.31
	小計		171	172	1	4	76.15
9	伊達	4	55	55	0	0	72.72
	室蘭	4	56	60	4	0	83.99
	室蘭東	3	48	50	2	0	91.60
	室蘭北	4	39	39	0	2	98.72
	登別	4	39	39	0	2	82.05
	洞爺湖	4	12	11	-1	0	86.36
	小計		249	254	5	4	85.91
	10	函館	4	101	105	4	0
函館亀田		3	47	48	1	1	77.78
森		4	48	48	0	0	76.00
七飯		3	29	28	-1	0	67.00
長万部		4	12	14	2	0	60.71
小計			237	243	6	1	72.42
11	江差	4	21	21	0	0	75.00
	函館五稜郭	4	64	68	4	0	86.64
	函館東	4	60	61	1	6	80.17
	函館北	4	43	39	-4	0	84.29
	上磯	4	33	33	0	3	65.90
	松前	4	9	9	0	1	66.70
	小計		230	231	1	10	76.45
12	白老	4	32	32	0	2	73.00
	苫小牧	4	61	64	3	0	75.37
	苫小牧東	4	33	33	0	3	83.59
	苫小牧北	4	49	49	0	2	90.91
	小計		175	178	3	7	80.72
合計		3,304	3,351	47	96	83.87	

地区カレンダー (11月・12月)

11 月 ロータリー財団月間	
1(土)	岩見沢RAC創立35周年記念式典 (岩見沢)
2(日)	ローターアクト地区協議会 (岩見沢)
3(月)	文化の日
4(火)	
5(水)	
6(木)	
7(金)	
8(土)	
9(日)	
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	R財団学友会第3回総会・懇親会 (札幌) 地区米山記念奨学委員会・懇談会 (札幌)
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	
23(日)	勤労感謝の日 北海道RAC交流会
24(月)	振替休日 北海道RAC交流会
25(火)	
26(水)	ロータリーの友座談会 (東京)
27(木)	ロータリー財団地域セミナー (東京)
28(金)	第2回ガバナー会、第2回ガバナーエレクト研 修セミナー (東京)
29(土)	ロータリー研究会 (東京) ロータリー市民フォーラム (札幌)
30(日)	ロータリー研究会 (東京)

12 月 家族月間	
1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	2004年国際大会第2回ROTEX準備会議(東京)
7(日)	
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	
14(日)	
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	天皇誕生日
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	